

2026年3月28日(土)午後 口頭発表

	A会場(A1)	B会場(A2)	C会場(A3)	D会場(A4)	E会場(B1,2)
13:30	A101○加藤 綾奈1、小野 剛1、南雲 晴菜2、大井田 寛2(1. 東京都農林総合研究センター、2. 法政大学生命科学部) チュウゴクアミガサハゴロモ越冬卵の発育パラメータを用いた孵化時期予測の検討ならびに卵および1 齢幼虫の薬剤感受性	B101○藤森 颯太1 (1. 奈良県農業研究開発センター) 各種薬剤のヒラズハナアザミウマに対する効果とクロヒョウタンカスミカメに対する影響	C101○楠原 弘己1、門間 由美子1 (1. 宮城県古川農業試験場) 宮城県産ツメクサガおよびオオタバコガの発育零点と有効積算温度	D101○高野 俊一郎1、Perera Nadeeka1 (1. 九大院・農) 細胞質不和合を引き起こす <i>Mesentia</i> に感染した寄主ハムシ雄の性的競争能力	E101○檜垣 守男1 (1. 農研機構・植防研) ゴマダラカミキリの2年型の体サイズが大型化するのなぜか? ~ 温度の影響~
13:45	A102○薬師寺 賢1 (1. 岡山県庁) 岡山県におけるモモのカイガラムシ類に対する有効薬剤と発芽前防除の検討	B102○佐藤 信輔1、岡田 亮1、ハムディアブデルサラム ファテン1、杉山 恵乃1 (1. 茨城農総セ・園研) TSWV 多発生ピーマンハウスにおけるヒラズハナアザミウマ保毒虫率の動態	C102○永山 敦士1,2、王浩舟2、伊禮 信3、七塔 高也4,5、郭 威2 (1. 沖縄県農研セ、2. 東京大学、3. 沖縄県病害防セ、4. 千歳科学技術大学、5. かずさDNA研究所) ドローンの経時的データに基づくイネヨトウ <i>Sesamia inferens</i> (Walker) 被害のモニタリング方法に関する研究	D102○新村 瑠里1、外山 晶敏1、岸本 英成1 (1. 農研機構・植防研) 異なる湿度条件下におけるミヤコカブリダニの生存限界時間の評価	E102中本 光玲1、上田 昇平3、上田 嘉一2、○平井 規央3 (1. 大阪府大院・生命、2. やまと自然と虫の会、3. 大阪公大院・農) マルカメムシを捕食するムネアカオクロテントウの生活史
14:00	A103○貴志 学1、弘岡 拓人1,2 (1. 和歌山かきもも研、2. 大阪公大院・農) クビアカツヤカミキリ卵の高温蒸気による防除法の開発	B103○北山 僚太郎1、西 優輔1 (1. 岡山農研) 促成栽培イチゴでのブラインシュリンプ卵を導入したアカメガシワクダアザミウマ利用体系における放飼個体分布変化とアザミウマ類被害抑制効果	C103○東浦 祥光1、本田 善之1、大山 恭吾1 (1. 山口農林総技セ) 水田における黄色粘着板を用いた害虫類および寄生蜂類のモニタリング	D103○関根 崇行1、大江 高穂1、駒形 泰之1 (1. 宮城農園研) パブリカ施設におけるクモンクサカゲロウのアブラムシ抑制効果と産卵特性	E103○梓田 光哉1、山崎 周一郎1、吉澤 比英子1、野澤 聡華1 (1. 栃木県農業総合研究センター) 栃木県南部地域におけるイネカメムシの発生消長と生態調査
14:15	A104○弘岡 拓人1,2、増田 吉彦3、滝久智4、上田 昇平2、平井 規央2 (1. 和歌山かきもも研、2. 大阪公立大院・農、3. 和歌山県岩出市、4. 森林総研) クビアカツヤカミキリに対する長期残効性薬剤含有ネットの防除効果	B104○高田 裕司1 (1. 長崎県農林技術開発センター) イチゴ圃場における天敵温存植物「スイートアリッサム」混植の有効性	C104○住田 歩夢1、田淵 研2、吉村 英翔3、竹松 葉子4 (1. 鳥取大院・連合農、2. 農研機構東北農研、3. 玉川大学・農、4. 山口大院・創成科学) 景観要因がイネカメムシの発生量に及ぼす影響	D104徳田 暉1、高橋 直大1、山本 雅信1,2、○鈴木 文詞1,2 (1. 農工大院・BASE、2. 農工大院・AIS) マデラゴキブリの睡眠様状態と老化の関係	E104○小林 誠1、関澤 央宜1、野沢 英之1 (1. 栃木県農業総合研究センター環境技術指導部防除課) 栃木県におけるイネカメムシのスマート害虫モニタリングシステムに対する誘殺消長、誘殺時間帯及びその環境要因

F会場(G1,2)	G会場(D1,2)	H会場(E1,2)	I会場(H1,2)	J会場(シビックホールB)	
F101○見上 孝1 (1. 生物めぐみ研究所) ミツバチの精子生存観察の新規方法について	G101○宮崎 智史1、林良信2、山口 勝司3、重信 秀治3 (1. 玉川大・院・農、2. 慶應大・法、3. 基生研) カドフシアリの女王多型と関連するスーパーゼーン			J101○汪 辰昊1、関口 実里2、日本 典秀1 (1. 京大院・農・生態情報開、2. アリスタライフサイエンス株式会社) In a warming world: Temperature alters locomotor and predatory behaviour of polyphagous predatory mites <i>Amblyseius andersoni</i> (Acari: Phytoseiidae)	13:30
F102○原野 健一1 (1. 玉川大・ミツバチ科学) ダンスで動員されたミツバチはダンサーよりも高濃度の花蜜を燃料として持ち出す	G102○丹伊田 拓磨1、松浦 健二1 (1. 京大院・農・昆虫生態) 真社会性昆虫ヤマトシロアリにおいて発現変動する遺伝子のゲノム特性			J102○Rismayani RISMAYANI1,2、Nozomu Naiki3、Hideaki Takahashi1、Rio Suga3、Kana Suzuki1、Faten Abdelsalam Hamdi1、Masanobu Yamamoto1,4、Takeshi Suzuki1,4 (1. BASE, TUAT、2. BRIN, Indonesia、3. Fac. Agric., TUAT、4. AIS, TUAT) An RNAi-based biobooster: Dietary dsRNA targeting a circadian clock gene enhances predatory mite performance	13:45
F103濱野 元晴1、仁木 和哉1、今村 恵基1、○佐々木 謙1 (1. 玉川大・農) セイヨウミツバチにおける毒液中の生体アミン濃度のカーブ差とその差をつくりだす仕組み	G103○稲田 圭1、徳田 岳2、千頭 康彦3、大出 高弘1、大門 高明1 (1. 京大院・農、2. 琉球大・熱帯生物圏研究センター、3. 静岡大・理) 紙食害性昆虫マダラシミにおける高度なセルロース分解能の進化			J103○谷重 和来1、千頭 康彦2、新美 輝幸3,4、大出 高弘1 (1. 京大院・農、2. 静岡大・院理、3. 基生研・進化発生、4. 総研大・先端学術) Exploring a wing homologous region in the wingless insect <i>Thermobia domestica</i>	14:00
F104○小谷 寛己1、佐々木 謙1 (1. 玉川大・院・農) クロマルハナバチ女王のコロニー発達に伴う産卵性比の変化	G104○井上 慎太郎1、島村 彩音2、越山 顕一郎3、友成 さゆり4、高田 太陽2、石丸 善康5、宮脇 克行1、高橋 章6、二川 健7、野地 澄晴8、渡邊 崇人1、三戸 太郎1 (1. 徳島大・BIRC、2. 徳島大・院創成科学、3. 徳島大・院社会産業理工・機械科学系、4. 徳島大・技術支援部、5. 徳島大・院社会産業理工・生物資源、6. 徳島大・院医歯薬・予防環境栄養、7. 徳島大・院医歯薬・生体栄養、8. 株式会社EvoDvo Tech) フタホシコオロギにおける表皮での遺伝子過剰発現システムの確立とクチクラ研究への活用			J104○潘 豪1 (1. 東京農工大学大学院生物システム応用科学府鈴木研究室) Comparative proteomics reveals the programmed induction mechanism underlying embryonic diapause in the field cricket, <i>Teleogryllus emma</i>	14:15

2026年3月28日(土)午後 口頭発表

	A会場(A1)	B会場(A2)	C会場(A3)	D会場(A4)	E会場(B1,2)
14:30	A105○砂村 栄力1、弘岡 拓人2、山本 優一3、城塚 可奈子3、向井 裕美1、所 雅彦1、小西 堯生1、上森 教慈1、滝 久智1、松本 剛史1、加賀 谷 悦子1、田村 繁明1(1. 森林総合研究所、2. 和歌山かきもも研、3. 大阪環農水研) 樹幹から羽化脱出してきたクビアカツヤカミキリをネット巻きとの併用により駆除するペイト剤の開発	B105○山本 英里子1、澤村 信生1(1. 島根農技セ) 島根県の施設アスパラガスにおけるネギアザミウマの発生動態と有効薬剤の検討	C105○新田 裕之1、星野 滋1、浅枝 諭史1(1. 広島総研農技セ) GRVI変換後のドローン空撮画像を用いたトビロウンカ坪枯れの早期発見技術	D105○浦野 忠久1、砂村 栄力1、長谷川 美恵子2(1. 森林総合研究所、2. 大和化学工業(株)) クビアカツヤカミキリ野外被害木に対する捕食寄生性甲虫サビマダラオオホソカタムシ放飼試験	E105○矢吹 侃也1、角田 ひかり2、野村 昌史1(1. 千葉大院・園芸、2. 千葉農林総研暖地) ウスモンミドリカスミカメ <i>Apolygus lucorum</i> の千葉県における生活史
14:45	A106○向井 裕美1、河野 雅史2、陶山 純2、小野寺 隆一3、高梨 琢磨4(1. 森林総研、2. みのる産業(株)、3. 東北特殊鋼(株)、4. 福島大・食農学類) 菌床栽培シイタケを対象とした振動のダブル効果の検証: 害虫抑制及び子実体発生管理は可能か?	B106○吉村 友加里1(1. 長崎県農林技術開発センター) 長崎県内のアスパラガスに寄生するアザミウマ類の種構成と殺虫効果	C106○山口 慧1、北野 大輔2、岡本 繁樹1、近藤 篤1(1. 滋賀県農技セ、2. 滋賀県農政水産部農政課) ミナミアオカメムシにおける越冬予測モデルの構築と精度検証	D106○中井 善太1、中上 智司2、佐藤 智哉2、大井田 寛2、中村 耕士1(1. 千葉農林総研セ、2. 法政大・生命) 根深ネギにおける生息地管理による天敵類の保護強化及び害虫類の防除	E106○谷山 克也1(1. 国土館大学) トワダオオカの関東地方における生活史の推定
15:00	A107○高梨 琢磨1、根本 有希菜1、床井 まど叶1、佐藤 琉世1、阿部 翔太2、小野寺 隆一2(1. 福島大学食農学類、2. 東北特殊鋼) 振動によるコナジラミ類に対する防除効果: 福島県のトマト生産者圃場における実証	B107○片山 晴喜1、中野 亮平1、曾根 良輔1(1. 静岡県農林技術研究所) ヘヤカブリダニ土着系統とスワルスキーカブリダニ製剤との捕食能力の比較	C107○石丸 晃成1、白石 祥子1、前田 貢輝1(1. 佐賀県果樹試験場) LEDを光源としAIによる識別機能を有する予察灯の果樹カメムシ類に対する実用性評価	D107○矢野 文士1、赤星 裕良2、江頭 颯太3、徳田 誠1,3(1. 鹿児島大院・連合農、2. 佐賀大院・農、3. 佐賀大・農) 飛ばないナミテントウ(トバテン)と野生型との防御形質およびニホンアマガエルによる捕食リスクの比較	E107○澤村 信生1(1. 島根農技セ) 島根県におけるフジコナカイガラムシ越冬ステージの変化について
15:15	A108○大江 高穂1,4、関根 崇行1、駒形 泰之1、小野寺 隆一2、阿部 翔太2、高梨 琢磨3、堀 雅敏4(1. 宮城県農業・園芸総合研究所、2. 東北特殊鋼(株)、3. 福島大学、4. 東北大学) パプリカおよびキュウリにおける振動による害虫防除—コナジラミ類・アザミウマ類に対する効果検証と天敵の併用—	B108○楠畑 勇祐1、外園 幸夫1,4、樋口 康一1,2、宮崎 信幸3、有馬 康平3(1. 鹿児島南薩振興局指宿、2. 鹿児島農総セ、3. 指宿市、4. 鹿児島市) 施設オクラのコナジラミ類に対するスワルスキーカブリダニ導入の検討	C108○高橋 諒1,2、酒井 和彦1,2、小俣 良介3,2、宮田 穂波3(1. 埼玉県病害虫防除所、2. 埼玉・農技研、3. 埼玉県茶業研究所) チュウゴクアミガサハゴロモの埼玉県内における生態と発生消長について	D108○玉川 陽菜1、加藤 綾奈2、大井田 寛1(1. 法政大院・理工学、2. 東京都農セ) ハナグモはヒメハナカメムシと共存できる?: 天敵温存植物を植栽した都市農業のナス圃場にみられるクモ類とその機能評価	E108○北嶋 康樹1、安達 美音1(1. 茨城大・農・応動昆) サガミナミハダニの生活史とその寄主植物クワクサのフェノロジーとの関係

F会場(G1,2)	G会場(D1,2)	H会場(E1,2)	I会場(H1,2)	J会場(シビックホールB)	
F105○千代田 和真1、井上 哉太1、佐藤 俊幸1、小山 哲史1 (1. 東京農工大学院・農) ヤマツボシオオアリの生殖虫における複数回交尾可能性の検証	G105○高橋 迪彦1、高田 悠太1、杉山 隆雅1,2、森山 実1、深津 武馬1,2,3、二橋 亮1 (1. 産総研、2. 東大院・理、3. 筑波大院・生命環境) カメムシ目昆虫に <i>doublesex</i> 遺伝子は存在するか?	H105○Lingtao Zhang1、Chieka Minakuchi2、Masami Shimoda1 (1. UTokyo Agr & Life Sci、2. Nagoya Univ. Bioagri Sci) The molecular mechanism underlying growth and metamorphosis in black soldier fly ( <i>Hermetia illucens</i> )		J105○Poonyapat Punhom1、Athipat Ngermnuen1、Narisara Piyasaengthong 1 (1. Kasetsart University) Impacts of crossbreeding between wing color variants of <i>Gryllus bimaculatus</i> (Orthoptera: Gryllidae) on their growth and productivity	14:30
F106○村上 貴弘1、宮田 弘樹2 (1. 岡山理大・理・動物、2. 竹中工務店・技研) ハキリアリはどのような音に強く反応するのか?	G106○杉本 貴史1 (1. 静岡大学農学部) アズキノメイガにおいて新規に同定されたW染色体連鎖メス化因子候補の解析	H106○平石 拓海1、坂井 貴臣1、朝野 維起1 (1. 東京都立大学・院・理) Searching genes responsible for the exaggerated traits in the foreleg of the long-legged fruit fly, <i>Drosophila prolongata</i>		J106○熊谷 佳奈子1、朝比奈 雅志2、土田 努3、湯本 絵美2、別所-上原 奏子1 (1. 東北大学、2. 帝京大学、3. 富山大学) Identification of Plant-Side Factors Contributing to Gall Development	14:45
F107○大部 喜子1、相川 和1、○北條 賢1 (1. 関学大・院・理工) アミメアリにおける対峙相手に応じた攻撃行動様式の違い	G107○野崎 友成1,2、小林 裕樹1、池田 弥華1、重信 秀治1,2 (1. 基礎生物学研究所、2. 総合研究大学院大学) 共生細菌の入れ替わりとゲノム進化によるアブラムシ多重共生システムの再構築	H107○吉田 美月1、黄川田 隆洋1 (1. 農研機構・生物研) Tissue-specific expression of aquaporins and trehalose transporters during anhydrobiosis induction in larvae of <i>Polypedilum vanderplanki</i>		J107○Eko Andrianto1、Norihide Hinomoto1 (1. Lab Eco.Info,GAS, Kyoto Univ.) Behavioral and Molecular Heat Stress Responses Associated with Wolbachia Infection in the Predatory Bug <i>Orius strigicollis</i>	15:00
F108○濱口 京子1、神崎 菜摘1、秋野 順治2 (1. 森総研関西、2. 京工繊大) クロナガアリの新女王による執拗な入り込み行動について	G108○長 泰行1 (1. 千葉大学・園芸学研究院) 子育ては独りでするより他個体と: キイカブリダニによる卵の保護	H108○Kathleen Tacipit Dizon1、Yuki Mitaka1、Chieka Minakuchi1 (1. Nagoya University) Developmental Expression Profiles of Fatty Acid Synthase Genes in the red flour beetle, <i>Tribolium castaneum</i> (Coleoptera: Tenebrionidae)		J108○蔡 雯瑾1、森山 実2、西出 雄大3、古賀 隆一2、深津 武馬2,1,4 (1. 東大・院理、2. 産総研、3. 農研機構、4. 筑波大・生命環境) Artificial symbiotic <i>Escherichia coli</i> can better colonize the host stinkbug and outcompete the natural symbiotic bacteria	15:15

	A会場(A1)	B会場(A2)	C会場(A3)	D会場(A4)	E会場(B1,2)
15:30	A109 柳澤 隆平1、○萬屋 宏1 (1. 農研機構・植物防疫研究部門) 振動によるチャノミドリヒメヨコバイの行動制御の可能性	B109 ○浦野 知1、広岡 佑太2、中野 昭雄2 (1. ペコIPMパイロット、2. 徳島農総技セ) 害虫の増加を許さない薬散間隔-タバコナジラミ防除の成否の要因	C109 ○佐野 正和1 (1. 農研機構・北農研) ジャガイモ圃場におけるアブラムシ有翅虫の飛来に影響を及ぼす気象要因	D109 ○中野 亮平1、片山 晴喜1、曾根 良輔1 (1. 静岡農林技研) タバコカスミカメに対する各種気門封鎖剤およびコナジラミ忌避剤の影響	E109 関 那由太1、○宇高 寛子1 (1. 岡山理科大学) オカダンゴムシにおける低温耐性の季節変化と温度の影響
15:45	A110 ○浦入 千宗1、星 貴之2、小嶋 凌勢3、伏見 龍樹3、落合 陽一3 (1. 農研機構・野花研、2. ピクシーダストテクノロジーズ(株)、3. 筑波大) コナジラミ類防除ロボットの実用化に向けた空気渦輪による害虫の離脱促進効果の検討	B110 ○曾根 良輔1、中野 亮平1、片山 晴喜1 (1. 静岡県農林技術研究所) タバコナジラミに対する各種気門封鎖剤の殺虫効果	C110 ○星野 滋1、亀井 幹夫2 (1. 広島県立総合技術研究所農業技術センター、2. 広島県農林水産局林業課) ハナアザミウマの放飼実験によるレモン果皮障害の原因特定	D110 ○春山 靖成1、村上 理都子2、樋口 聡志1 (1. 熊本県農業研究センター、2. 農研機構・植防研) 冬春トマト圃場におけるタバコカスミカメのトマトキバガ捕食状況	E110 ○宮竹 貴久1、福戸 悠太1、高橋 祐衣1、五島 千秋1、澤谷 祐輝1 (1. 岡山大学) 農作物も加害するオカダンゴムシを含むダンゴムシ類の岡山市内における分布
16:00	A111 ○嶋村 南璃1、二村 友彬1 (1. 神奈川県農業技術センター) 神奈川県内のタバコナジラミに対する殺虫剤の効果について	B111 ○與儀 喜代政1 (1. 沖縄県農業研究センター) 施設ナスにおけるプロフェジン水和剤およびタバコカスミカメ高密度放飼併用によるクロテンコナカイガラムシの密度抑制効果	C111 ○川田 祐輔1 (1. 神奈川県農技セ足柄) 神奈川県におけるミカンナガタムシの羽化消長	D111 ○小松崎 優1、水谷 信夫1 (1. 農研機構・植防研) 侵入害虫トマトキバガに対する土着寄生蜂の探索	E112 ○新谷 喜紀1、小森 崇聖1 (1. 南九州大・昆虫) 二次寄生蜂大量飼育システムの構築
16:15	A112 ○岩本 哲弥1、大山 恭吾1、本田 善之1 (1. 山口農林総合技セ) おとり植物と忌避剤、気門封鎖剤を組み合わせたイチゴのアザミウマ類防除体系について(第3報)	B112 ○安達 修平1、秋月 岳1、眞田 幸代1 (1. 農研機構・植防研) トマトキバガを効率的に多数飼育可能な人工飼料の開発	C112 ○中山 大誠1、元吉 真衣1、塩田 あづさ1 (1. 千葉県農林総合研究センター) アブラナ科に寄生するシストセンチュウ <i>Heterodera cruciferae</i> が関与するダイコン根部傷害の発生	D112 ○藏満 司夢1、田村 和暉2、藤江 隼平3、石川 夏帆1、江川 和総1 (1. 筑波大学・応用動物昆虫学研究室、2. 茨城大学・農学部、3. 大阪市立自然史博物館) Sex and the pity: 強固な外骨格を持つシロコブゾウムシ成虫に寄生する寄生蜂 <i>Perilitus</i> sp. の寄主特異性と特異な産卵戦術	

F会場(C1,2)	G会場(D1,2)	H会場(E1,2)	I会場(H1,2)	J会場(シビックホールB)	
F109○辻 和希1,2、有馬一輝1、植松 潤平1,2、山道 真人3 (1. 琉大・農、2. 鹿大・院・連合農学、3. 国立遺伝研) 対立が共存を生む種内適応荷重理論のテスト: 対照的2種比較	G109○井上 貴裕1、國貞 葉菜子1、水谷 恵子1,2、吉田 知生1、甲斐久博5、宇都 拓洋4、小田 憲司1、稲垣 歩3、上野 崇寿3、川田 逸人2、古川 隼士2、辻 尚利2、八田 岳士2 (1. 一般財団生物科学安全研究所、2. 北里大学院、3. 大分工専、4. 長崎国際大、5. 九州医療科学大) ヒノキ含有成分はワクモの吸血行動に変化を及ぼす	H109 Shine Shane Naing1、○Takahisa Miyatake1 (1. Okayama University) Effects of larval caffeine exposure on adult fecundity and egg hatchability in the red flour beetle, <i>Tribolium castaneum</i> (Coleoptera: Tenebrionidae)		J109○SHANJIDA SULTANA1 (1. Kyushu University) Effects of prior host experience on mating success in the larval parasitoid <i>Microplitis croceipes</i>	15:30
F110○三高 雄希1 (1. 名古屋大学・農・害虫制御) ヤマトシロアリの職蟻を誘引する集合フェロモンの成分再評価	G110○有本 誠1、肥後雄一2,4、後藤 哲雄3,5 (1. 横浜植防、2. 横浜植防成田支所、3. 流通経済大学、4. 現在: 横浜植防東京支所、5. 現在: 龍ヶ崎市) 南米大陸からのハダニ科 <i>Tetranychus turkestanii</i> の初記録ー日本の輸入植物検疫における捕捉ー	H110○八田 曉美1、橋爪 洋太1、原田 翔太1 (1. 土浦日本大学高等学校) Deciphering the "Black Box" of Silkworm Strain c02: Physiological Validation of the I Gene and the Serendipitous Identification of Y and C Genotypes.		J110○江川 和総1、野口 隼人1、小松崎 優1、Piyasaengthong Narisara2、古川 誠一1、藏満 司夢1 (1. 筑波大学・応用動物昆虫学研究室、2. カセサート大学・理学部・動物学科) Broad impacts of fungicides on parasitoids via consumption by their hosts	15:45
F111伊藤 龍之介1、三友 光1、矢部 清隆1、高田 守1、○松浦 健二1 (1. 京都大学大学院農学研究科) シロアリ社会の偶然と必然: 巣のネットワーク構造に応じた王室場所決定	G111水野 寛太1、Dong Liang1、○白藤 梨可1 (1. 帯畜大・原虫研) 原虫感染フタゲチマダニにおける immune deficiency (IMD) 経路構成分子の機能	H111○Aint Thet Htar Oo1、Takamasa KOMORI2、Yoshinori SHINTANI2、Tarō ADATI1 (1. Tokyo Univ. of Agriculture、2. Minami Kyushu Univ.) Stable isotope evidence for intraspecific cannibalism in the fall armyworm <i>Spodoptera frugiperda</i>		J111○Surapat Tantayothin1、Weeyawat Jaitrong2、Narisara Piyasaengthong 1 (1. Kasetsart University、2. NSM Thailand) Behavioral patterns and changes of Asian weaver ant <i>Oecophylla smaragdina</i> (Hymenoptera: Formicidae)	16:00
F112○沓掛 磨也子1、森山 実1、深津 武馬1 (1. 産業技術総合研究所) 社会性アブラムシにおける自己犠牲的なゴール修復行動の分子・細胞基盤の進化	G112○澁谷 光1 (1. アジアプランニング株式会社) 阿蘇地域の草地におけるヤマビル の生息状況	H112○Elcidio Eugenio Sambo1、Yuki Fujita1、Laura Carmela Narvaez1、Daigo Aiuchi1 (1. Obihiro Univ.) Endophytic ability of entomopathogenic fungi, <i>Beauveria bassiana</i> and <i>Akanthomyces</i> spp. on maize and oral infection against Asian Corn Borer		J112○平松 大典1、佐藤 俊幸1、小山 哲史1、大井田 寛2 (1. 東京農工大院・農、2. 法政大・生命) Biological control effects of <i>Geocoris varius</i> against the mutualistic relationship between the invasive alien species Argentine ant and aphids	16:15

	A会場(A1)	B会場(A2)	C会場(A3)	D会場(A4)	E会場(B1,2)
9:00	A301○林 真弓1、中野昭雄1(1. 徳島県立農林水産総合技術支援センター) イチゴに寄生するワタアブラムシに対する気門封鎖型薬剤の殺虫効果(第2報)	B301○大野 豪1、城本啓子1,2(1. 沖縄農研セ・石垣支所、2. 琉大・熱生研西表) 八重山地域の水田に発生する主要カメムシ類の中から、重要害虫種を特定した	C301○森 大佑1、山中武彦1(1. 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構) 誘蛾灯捕殺データと齡構成モデルによるチョウ目害虫防除最適化の提案	D301○佐々木 愛1、大井田 寛2(1. 東京都・小笠原農セ、2. 法政大・生命) 東京都小笠原村における <i>Aleurotrachelus trachoides</i> の寄主植物	E301○粥川 琢巳1、渡邊 和代1(1. 農研機構・生物研) 農研機構が保有する昆虫培養細胞
9:15	A302○田中 雅也1、八瀬 順也1(1. 兵庫農技総セ) 黄色粘着板の三次元設置による微小害虫の誘引性	B302○海口 直弥1、清水 信孝1(1. 福岡県農林業総合試験場) 福岡県における主要な斑点米カメムシ類の加害が水稲種子の発芽に及ぼす影響について	C302○奥原 大樹1、土屋 充志2、石島 諒一2、濱本 卓1、加嶋 崇之1、佐野 真喜子1、小川 宗和1、海老原 格2、水谷 孝一2(1. 石原産業株式会社、2. 筑波大学) 画像データ解析に基づくコナジラミの自動検出および識別	D302○遠藤 信幸1、弘中 満太郎2、内田 誠二2、磯辺 唯花2(1. 農研機構植物防疫研究部門、2. 石川県立大) 走光性の相乗効果メカニズム:空間内の緑色光が紫外光の魅力を引き出す!?	E302○長峯 啓佑1(1. 農研機構・生物研) チョウ目特異的なヌクレアーゼ「REase」は抗ウイルス応答に 関与するか?
9:30	A303○津田 裕樹1、下見 悠輔1、平木 薫1、山崎 修一1(1. 大分農林水研) 夏秋ピーマンにおけるアザミウマ類に対する衝立式赤色防虫ネットの防除効果	B303○佐々木 郁弥1、柴 卓也2、高篠 賢二1、松倉 啓一郎1(1. 農研機構・植防研、2. 龍谷大・農) 半野外環境下における飼育観察データに基づいたイネカメムシの有効積算温度パラメータの推定	C303○田淵 研1、吉村 英翔2、清田 裕司3、松木 伸浩3、吉田 昂樹3、前原 瞳3、山田 真孝3、渡邊 秀明3(1. 農研機構東北農業研究センター、2. 玉川大学、3. 福島県農業総合センター) 土地利用を用いた害虫被害リスク予測:複数害虫の予測とその統合	D303○矢野 修一1、寺本 優香1(1. 京大院・農・生態情報) カブリダニの幼虫は「いらんことしい」なのか?	E303○多田 晃一郎1、粥川 琢巳2、長峯 啓佑2、三高雄希1、水口 智江可1(1. 名大院・生命農、2. 農研機構) ココナストモドキの成虫に特有の表皮クチクラタンパク質のホルモンを介した転写制御機構
9:45	A304 元吉 真衣1、○加藤 綾夏1、塩田 あづさ1(1. 千葉農林総研セ) ミニトマト栽培におけるかん水方法の違いがネコブセンチュウの動態に及ぼす影響	B304○窪田 直也1、清田 義子1、鈴木 秀文1、小河原 孝司1(1. 茨城県病害虫防除所) メヒシバが優占する畦畔雑草地におけるイネカメムシの発生	C304○川北 哲史1、北村 登史雄1、星野 滋2(1. 農研機構 西日本農業研究センター、2. 広島県立総合技術研究所 農業技術センター) IoTを利用した害虫モニタリング装置と既存トラップとの捕殺数推移の比較と、最新の開発状況	D304○裏垣 翔野1、向日 春輔1(1. 和歌山県果樹試験場うめ研究所) 和歌山県のウメ栽培圃場におけるモモヒメコバの発生生態	E304○柴田 智文1,2、佐伯 かおる2、齊藤 千温3,4、上原 拓也2(1. 科学警察研究所、2. 農研機構・生物研、3. 静岡農林技研、4. 現 静岡県西部農林事務所) タバコカスミカメ赤眼系統の責任遺伝子 scarlet の決定
10:00	A305○角田 ひかり1、池田 尚平2、野口 知樹2、久保 周子1(1. 千葉農林総研暖地、2. 千葉安房農事) レタスの害虫ウスモンミドリカスミカメに対する数種薬剤の殺虫効果	B305○世戸口 貴宏1、松倉 啓一郎1、佐々木 郁弥1、遠藤 信幸1、高篠 賢二1(1. 農研機構・植防研) 初夏のメヒシバとホソムギにおけるイネカメムシの発生	C305○萬屋 宏1、柳澤 隆平1、須藤 正彬1(1. 農研機構 植物防疫研究部門 金谷茶業研究拠点) 茶の有機栽培で活用できるチャノドリヒメコバ体系的防除	D305○菊池 孝伸1(1. ネポン株式会社) バンコク(タイ国)の自社イチゴ圃場にて発生したワタアブラムシの発育と増殖について	E305○松田 直樹1、日本 典秀1、大門 高明1(1. 京大・院農) タイリクヒメハナカメムシにおける弾性タンパク質レジンinをコードする遺伝子の機能解析

F会場(C1,2)	G会場(D1,2)	H会場(E1,2)	I会場(H1,2)	J会場(シビックホールB)	
F301○佐藤 亮太1、居橋 勇祐1、佐々木 一2、伊藤 文紀2、宮崎 智史1 (1. 玉川大・院・農、2. 香川大・農) 奄美大島産タテナシウメマツアリの無翅女王の形態的特徴	G301○榎 浩平1,2、横井 翔3、坊農 秀雅1,2 (1. 広大・ゲノム編集、2. 広大・統合生命、3. 農研機構・生物研) セイヨウミツバチ <i>Apis mellifera</i> のワーカー分化過程におけるエンハンサー配列候補の探索	H301○島 克弥1 (1. エフエムシー・ケミカルズ(株)開発部) 感受性検定方法の選択とは? 特に“速効的遅死型”剤での検定方法			9:00
F302○細石 真吾1 (1. 九州大学熱帯農学研究センター) 土地利用と緑地タイプからみた九州北部の港湾地域のアリ群集	G302○大野 修1、宇津木 優季1、窪田 千夏1、笠原 駿輔1、権 来悟1、木村 将大2、加藤 学3、景山 心悟3、生田 智樹3、松野 研司4 (1. 工学院大・先進工、2. 東京工科大・応生、3. 山田養蜂場、4. 安田女子大・薬)	H302○須藤 正彬1、中野 亮平2、土井 誠2、今村 剛士3、國本 佳範3、刑部 正博4 (1. 農研機構・植防研、2. 静岡県農林技研、3. 奈良県庁、4. 京都大学) 定量PCR分析と統計モデルによる殺ダニ剤抵抗性の進化速度の効率的推定			9:15
F303○土田 浩治1、岡本 朋子1、横井 翔2 (1. 岐阜大学、2. 農研機構生物機能利用研究部門) オーストラリアに侵入したフタモンアシナガバチの原産地を探る	G303○山本 大介1、水島 大貴 1、Ahmed Tabbabi1、加藤 大智1 (1. 自治医大・医・医動物学) サシチョウバエ <i>Phlebotomus papatasi</i> におけるゲノム編集を用いた体色遺伝子のノックアウト	H303○刑部 正博 殺ダニ剤抵抗性の作用点変異と解毒酵素は異なるメカニズムで選抜される?			9:30
F304○吉村 英翔1,2、佐々木 謙1、西村 正和3、小田島 圭汰1、山田 佳廣4 (1. 玉川大学農学部、2. 農研機構東北農研、3. 玉川大学ミツバチ科学、4. 三重大学生物資源学部) 日本産アシナガバチ類における日長依存カースト決定の種間比較	G304○朝野 維起1 (1. 東京都立大学理学学生命科学) 昆虫外骨格の強化・安定化に関わる二つの化学反応	H304○阿部 初紀1、柳 沼 久美子1 (1. 福島農総セ果) 福島県の果樹に寄生するハダニ類の薬剤感受性の実態			9:45
F305○小坂 肇1、佐山 勝彦1、神崎 菜摘1、牧野 俊一1 (1. 森林総合研究所) スズメバチ女王に寄生する寄生バチの局所的な寄生率の比較	G305 高橋 侑花1、○篠田 徹郎1 (1. 福島大学食農学類) チャバネアオカメムシの幼若ホルモン酸メチル基転移酵素様遺伝子 <i>JHAMT L4</i> 及び <i>L5</i> の発現解析	H305○松本 匠哉1、中井 清裕1、川田 千瑛2、小原 慎司3 (1. 香川県農業試験場、2. 香川県病害虫防除所、3. 株式会社アグリ総研) アザミウマを対象とした感受性簡易検定キットの性能評価			10:00

2026年3月30日(月)午前 口頭発表

	A会場(A1)	B会場(A2)	C会場(A3)	D会場(A4)	E会場(B1,2)
10:15	A306○清川 僚1 (1. 青森産技セ 野菜研) 青森県のごぼうにおけるサビヒョウタンゾウムシの発生生態と殺虫剤の防除効果	B306○大仲 桂太1、櫛部 七海1 (1. 三重県農業研究所) イネカメムシによる被害抑制を目的とした水稻の薬剤散布適期の検討	C306○喜久村 智子1、安次富 由乃2、大城 楓3 (1. 沖縄県農業研究センター、2. 沖縄県南部農業改良普及センター、3. JAおきなわ) 現地露地オクラにおける天敵温存植物を利用したフタテンミドリヒメヨコバイの密度抑制の可能性	D306○小野 友暉1、大澤 直哉1 (1. 摂大・農・昆虫研) メールキラーの感染の有無が、ナミテントウの産卵数や寿命に与える影響	E306○西 吉利1,2、浜中 良隆2、志賀 向子2 (1. 阪大・国際科学、2. 阪大・理学研究科) 神経ペプチドコラゾニン はホソヘリカメムシの生殖および胸部斑紋形成の光周性に関する
10:30	A307○桑名 ひまり1、黒田 貴仁1 (1. 富山農総技セ) 富山県におけるネギのシロイチモジヨトウに対する主要薬剤の殺虫効果	B307○西條 圭祐1、草野 尚雄1 (1. 茨農総セ農研) 茨城県内採集のイネカメムシ成虫に対するジノテフラン液剤の感受性と吸汁阻害効果	C307○鈴木 晴喜1 (1. 静岡県農技研果樹研セ) 寒天ゲル上カンキツリーフディスクによるアカマルカイガラムシの飼育および薬剤感受性検定	D307○大澤 直哉1、今倉 浩太1 (1. 摂南大学農学部) ナミテントウの交尾におけるオスのサイズの影響	E307○清水 悠太1、片岡 孝介2,3、後藤 慎介1 (1. 大阪公立大・院理、2. 東京農工大・院工、3. 早稲田大・総合研究機構) 睡眠ホルモン様遺伝子はマダラスズの母性睡眠誘導に関与しない
10:45	A308○富原 工弥1 (1. 兵庫県立農林水産技術総合センター) ねぎ圃場における黄色LED防蛾灯を用いたシロイチモジヨトウ防除	B308○松倉 啓一郎1、世戸口 貴宏1、佐々木 郁弥1、遠藤 信幸1、高篠 賢二1 (1. 農研機構・植物防疫研究部門) 国内におけるイネカメムシの地理的変異について	C308○武藤 悠陽1、光畑 雅宏1、嶋村 茂治3、田中 栄嗣2、野村 昌史1 (1. 千葉大院・園芸、2. アリスタライフサイエンス(株)、3. (株)ハンモ) 紫外線とクロマルハナバチ~植物工場での利用について~	D308 山中 悠己1、乾 陽子1、○上田 昇平2 (1. 大阪教育大・自然科学、2. 大阪公大院・農) キマダラルリツバメ幼虫に対する寄主アリの特異的随伴行動	E308○中野 晏志1、清水 悠太2、後藤 慎介2 (1. 岡山理大・院・理工、2. 大阪公大・院理) エダナナフシの母親加齢による初期胚休眠誘導と幼若ホルモンの関係

F会場(C1,2)	G会場(D1,2)	H会場(E1,2)	I会場(H1,2)	J会場(シビックホールB)	
F306○西村 正和1、小野 正人1,2 (1. 玉川大学 学術研究所 ミツバチ科学研究センター、2. 玉川大・大学院・農学研究科) キイロスズメバチ ( <i>Vespa simillima</i> ) のドリフトした働きバチによる雄生産の可能性	G306 ○コル ネットリ シャー1、布施 寛人2、黄川田 隆洋1、志村 幸子1、宮田 佑悟1、徳本 翔子1、スメラ エリザベス3、アブシャヤー パメラ3、アラネダ リカルド3、アンダーソン ロイ3、ハイダー レドワン3 (1. 農研機構・生物機能利用研究部門、2. 東京大学、3. メリーランド大学) 常温乾燥保存可能な匂いセンサー培養細胞の作出	H306○櫻井 誠也1、駒形 森1、貴志 淳郎1、安藤 卓也1 (1. MCCLS株式会社) 殺虫剤プロフラニリド(テネベナール®) を含有する新規製剤「シスルモード®」の特性			10:15
F307○熊谷 緋沙子1 (1. 九段小学校) 蚊を誘引する花の構造～送粉者と花の形態進化の関係～	G307 辻井(藤原) 直1、金 俊憲2、○安居 拓恵1 (1. 農研機構・植防研、2. 韓国国立山林科学院) フラスの化学分析を用いた外来カミキリムシの寄生検出法は原産地と侵入地両方で利用できる	H307○駒形 森1、猪俣 伸一1、金城 寛俊1、櫻井 誠也1、貴志 淳郎1、安藤 卓也1 (1. MCCLS株式会社*) 殺虫剤プロフラニリド(テネベナール®) を含有する新規製剤「シスルモード®」の果樹害虫に対する防除効果			10:30
F308○津田 みどり1、顧祥鵬1、Sultana Naznin1、Morshed Niaz1 (1. 九州大学農学研究院) 環境変化に対する昆虫の世代間可塑性への内部共生菌 <i>Wolbachia</i> の効果	G308 藤木 瑛大1、○宇賀神 篤1 (1. 城西大・理・化生) 地雷原のゆりかごで:カブラハバチ卵のカラシ油耐性評価	H308○葛西 真治1、糸川 健太郎1、澤田 恵子1、比嘉 由紀子1、上村 望1、三浦 こずえ2、Kroesna Kang3、Sath Keo3、駒形 修1 (1. JIHS 国立感染症研究所、2. 東京大学、3. Royal Univ. Agricul.) カンボジア産ネツタイシマカにおけるピレスロイド剤超抵抗性 <i>ldr</i> 遺伝子3型の比較研究			10:45

	A会場(201)	B会場(301)	C会場(302)	D会場(303)	E会場(304)
13:30	A309○仲川 幹映1、糸川 健太郎2、谷川 力3、恩田 英治4、葛西 真治2、駒形 修2、糸山 享1 (1. 明治大学、2. 国立健康危機管理研究機構、3. イカリ消毒(株)、4. よこはま動物園ズーラシア) 動物園におけるハエ類の調査: 国内のサンバエから初めてピレスロイド剤抵抗性遺伝子 <i>kdr</i> が見つかった	B309○本田 善之1、大山 恭吾1 (1. 山口県農林総合技術センター) 水面散布することでトビイロウンカ防除に有効な油剤の開発2	C309○上樂 明也1、神村 学1、増岡 裕大2、西谷 光平2、日高 直哉2、何 佳蓉3、楊 詠竣3、本間 淳4.5.6、楠本 みさき4、黄 毓斌3、大塚 彰2 (1. 農研機構・生物研、2. 農研機構・植防研、3. 台湾農業部農業試験所、4. 沖縄病害虫防除セ、5. 琉球産経株式会社、6. 琉球大学・農学部) ゲノム解析によるミカンコミエの飛来源推定	D309○田中 幸一1、村田 浩平2 (1. つくば市、2. 東海大・農) 外来昆虫ブタクサハムシの成虫休眠に対する光周性: 気温および変温の影響	E309○徳田 岳1、関根 麗子1 (1. 琉球大学・熱帯生物圏研究センター) スギオシロアリの腸内微生物群集に対する摂食基質処理と高圧酸素処理の影響に関する比較解析
13:45	A310○岩橋 祐太1、阪上 洗多1、本田 理2 (1. 兵庫農技総セ、2. 兵庫県農林水産部) 黒大豆における無人航空機(ドローン)によるハスモンヨトウの防除効果の検証	B310○古川 晶啓1、近藤 知弥1、田淵 翔伍1、古田 明子1 (1. 佐賀県農業試験研究センター) トビイロウンカの水稲圃場における放虫方法の違いがその後の増殖に及ぼす影響	C310○伊礼 彩夏1、新崎 千江美1、高嶺 朝典1、本間 淳1.3、池川 雄亮1.2.3、大石 毅1 (1. 沖縄県病害虫防除技術センター、2. 琉球産経株式会社、3. 琉球大学) 沖縄県におけるセグロウリミバエ ( <i>Zeugodacus tau</i> ) の発生状況	D310○郎 亜嬌1、楠見 淳子2、阿部 芳久2 (1. 九大・院・地社、2. 九大・院・比文) タマバチ上科(膜翅目)の寄生蜂およびゴール形成蜂における卵成熟様式に関する比較研究	E310○柿澤 茂行1、西出 雄大2、○古賀 隆一1、汪 亜運1、深津 武馬1 (1. 産業技術総合研究所、2. 農研機構) ASKAライブラリーのスクリーニングによる昆虫-細菌共生関連遺伝子の探索
14:00	A311○谷本 悠輔1、塩谷 捺美2、尾山 智洋1、松田 絵里子1、藪 哲男1 (1. 石川農総研、2. 石川県庁) 額縁防除の斑点カメムシ類に対する防除効果	B311○柳澤 由加里1 (1. 兵庫県立農林水産技術総合センター) 黄色粘着板を用いたヒメトビウンカ水田侵入時の密度調査	C311○楠本 みさき1、本間 淳1.2.3、大石 毅1 (1. 沖縄県病害虫防除技術センター、2. (株)琉球産経、3. 琉球大学農学部) セグロウリミバエ大量増殖システムの技術開発—一成虫飼育と採卵方法に関する検討—	D311○鳥山 春太1、大澤 直哉1 (1. 撰大・農) 摂南大学枚方キャンパス周辺のオサムシ科昆虫群集	E311○西出 雄大1、柿澤 茂行2、古賀 隆一2、汪 亜運2、深津 武馬2 (1. 農研機構・生物機能、2. 産総研・モルビス) カメムシに共生しやすいデザイン—大腸菌を用いた新しい生物防除法
14:15	A312○新井 朋二1、菊池 優以1、松田 成弘1、鈴木 希1、井坂 優希1 (1. 群馬農技セ(防除所)) 群馬県における防除事例から考えるイネカメムシに対するジノテフラン液剤の散布時期	B312○矢代 敏久1、望月 遼太2.3、松村 正哉1、真田 幸代1 (1. 農研機構・植防研、2. 農研機構・九沖研、3. 北大院・農) トビイロウンカ・セジロウンカ発生予測システムの開発に向けて(1)	C312○普天間 斎1、大石 毅1、楠本 みさき1、本間 淳1.2 (1. 沖縄県病害虫防除技術センター、2. 琉球産経株式会社セグロウリミバエ ( <i>Zeugodacus tau</i> ) 雄成虫における交尾率およびキュウレア誘引性の日齢による変化	D312○城田 安幸1、城田 創1、佐藤 悠平1 (1. 医果同源性機能) りんごとみかんとバナナを置き、動物たちが食べる状態を調べた	E312○汪 亜運1、杉山 隆雅2.1、西出 雄大3、野崎 友成4、鈴木 龍太郎1、古賀 隆一1、深津 武馬1.2.5 (1. 産総研、2. 東大・理、3. 農研機構、4. 基生研、5. 筑大・生) 昆虫-微生物共生進化初期におけるグローバル転写因子変異の役割解明: 進化実験による実証
14:30	A313○山田 英一1、安藤 卓也1、直井 敦子1、田中 幸一2 (1. MCCLS(株)、2. つくば市) 殺虫剤エミリア®フロアブル(フルピリミン水和剤)の水田有用生物に対する影響	B313○望月 遼太1.2、矢代 敏久3、真田 幸代3、松村 正哉3 (1. 農研機構・九沖研、2. 北大院・農、3. 農研機構・植防研) トビイロウンカ・セジロウンカ発生予測システムの開発に向けて(2)	C313○本間 淳1.2 (1. 沖縄県病害虫防除セ、2. 琉大・農) トラップネットワークを用いた侵入害虫の根絶確認法の開発	D313○平岩 将良1、石若 直人2、秋山 大樹1、太田 貴生斗1、早坂 大亮1 (1. 近大・農、2. 近大・院・農) 生物多様性モニタリングにおける計数手法の比較—Deep learningを用いた自動計数、目視計数、写真計数の精度およびコストの評価—	E313○細川 貴弘1、近岡 勇仁1 (1. 九州・理) ヨコヅナツチカメムシにおける腸内共生細菌の多様性と共生関係の維持機構
14:45	A314○坂本 洋典1、坂本 佳子1、高井 嘉樹1、神宮 周作2、内堀 隼人3、中嶋 信美1、五箇 公一1 (1. 国立環境研究所、2. 対馬市役所、3. 東海理化) 侵入・定着が進む外来社会性昆虫に対する早期発見・防除システムの高度化	B314○城塚 可奈子1、柴尾 学1、日本 典秀2 (1. 大阪環農水研、2. 京大院・農) ネギアザミウマの生殖様式2系統のキャベツおよびネギに対する適合性	C314○久保 悠1、有本 誠1、織田 はるか1、中原 重仁1 (1. 横浜植物防疫所) イモゾウムシ及びアリモドキゾウムシを含むサツマイモを加害するゾウムシ類のマルチプレックスPCRによる識別法の開発	D314○大庭 伸也1、福岡 太一1、三田村 敏正1.2、渡辺 黎也1.3.4 (1. 長崎大、2. 福島大学、3. 倉敷芸術科学大学、4. 兵庫県立大学) タガメ生息モニタリングのための棒設置法の検証	E314○高田 悠太1、森山 実1、深津 武馬1.2.3 (1. 産総研、2. 東京大院・理、3. 筑波大院・生命環境) マルカメムシ初齢幼虫における共生状態に依存した行動変容の可視化
15:00	A315○石田 朱里1、墨岡 宏紀1、江本 勇治1、鈴木 晴喜1 (1. 静岡県農技研果樹研セ) 現地ウンシュウミカン園におけるドローンによる体系防除の検証	B315○榎部 七海1、大仲 桂太1、川端 俊夫2、山田 信二3、山口 友莉香4、市川 昌樹5 (1. 三重県農業研究所、2. 三重県中央農業改良普及センター、3. JA全農みえ、4. 前: 三重県農業研究所、5. 三重県桑名地域農業改良普及センター(前: 三重県農業研究所)) 促成栽培トマトにおけるタバコカスミカメの継続利用を想定したタバココナジラミの防除効果の検証	C315○米谷 衣代2、大門 聖2、○矢野 栄二1、柴尾 学3、石若 直人2、香取 郁夫2 (1. 奈良市、2. 近大・農、3. 大阪環農水研) Convergent cross mappingによるナス畑の害虫と天敵の個体群間相互作用の評価	D315○立田 晴記1、鐘ヶ江 正恵2、久保 弘文3、木 健志3 (1. 九州大学・理・生物、2. 九州大学・システム生命・生物、3. 琉球大学博物館) 沖縄島におけるヤエヤマドボタルの分布拡大状況と個体群の由来	E315○竹下 和貴1 (1. 秋田県大・生物資源科学) オオホシカメムシ細胞内共生系における共生細菌3型分泌装置の機能解析

2026年3月30日(月)午後 口頭発表

F会場(101)	G会場(102)	H会場(103)	I会場(104)	J会場(105)	
F309○松元 音旺1、室 知里2、小森 崇聖2、新谷 喜紀2、弘岡 拓人3、井口 雅裕3、米田 洋斗4、松尾 和典5 (1. 九大院・地社、2. 南九州大・昆虫、3. 和歌山果樹試験場、4. 大阪府松原市、5. 九大院・比文) 日本におけるチュウゴクアミガサハゴロモの卵寄生蜂の発見	G309○藤井 毅1、松山 茂2、増田 薫1、大橋 ひろ乃3、日本 典秀4、櫻井 健志3 (1. 摂南大学・農・応用昆虫、2. 筑波大・生命環境、3. 東農大・農、4. 京大院・農・生態情報) タイリクヒメハナカメムシが分泌する性フェロモン物質の探索				13:30
F310島田 拓3、田中 勇史2、○高須賀 圭三1 (1. 九大院・理、2. 八王子市、3. アントルーム) 一時的社会寄生性ケアリ2種による母殺教唆型ワーカー操作	G310○大橋 ひろ乃1、岡村 鮎1、日本 典秀2、藤井 毅3、櫻井 健志1 (1. 東農大・農、2. 京大院・農・生態情報、3. 摂南大・農・応用昆虫) タイリクヒメハナカメムシの匂いに対する誘引・忌避行動の観察				13:45
F311○下地 博之1、西宮 凜太郎1 (1. 琉球大学) オオシワアリを用いた行動の左右非対称性の検証	G311○新垣 則雄1、谷崎 樹生2、若村 定男3 (1. 沖縄県八重瀬町、2. 沖縄県石垣市、3. 京都先端大) イシガキシロテンハナムグリ ( <i>Protaetia ishigakia ishigakia</i> )の配偶行動				14:00
F312○松村 健太郎1 (1. 東京大学) 雌雄の活動性の相互作用が繁殖に及ぼす影響	G312○森山 太介1、若村 定男1、新垣 則雄1 (1. 京都先端大) イシガキシロテンハナムグリはなぜボウランに誘引されるのか: 沖縄本島・石垣島での野外試験による化学擬態の検証				14:15
F313○日室 千尋1、本間 淳2,3、池川 雄亮2,3,4、大石 毅2、熊野 了州5 (1. 岐大・応生、2. 沖縄県病害虫防セ、3. 琉大・農、4. 琉球産経(株)、5. 帯畜大) 野生ホストによって変化するイモゾウムシの射精物	G313○野村 佳暉1、千葉 勇輝1、堀 雅敏1 (1. 東北大院・農) 翅型と体表ワックス組成が異なるイチゴハムシ個体群間における交配後隔離の有無				14:30
F314○中野 亮1、Diaz-Garcia Lara1,2 (1. 農研機構・植防研、2. University of Strathclyde) コウモリの超音波に対するハチノスツヅリガの行動反応	G314○花城 比華里1、立石 康介2、北條 賢2、藤井 毅1 (1. 摂南大・農学研究科・応用昆虫、2. 関西学院大・生命環境・生物科学) アメリカシロヒトリのアルデヒドフェロモン成分比の変化に伴うオス誘引への影響				14:45
F315○香取 郁夫1、坂本 貴海1、岸本 和1、奥田 健人1、細川 雄平1 (1. 近畿大・農) ジャコウアゲハ幼虫の体表を覆う肉状突起の役割に関する「共食いからの防衛」仮説の検証2	G315○八角 かのん1、室智大2,3、松井 悠樹4、勝間 進2、藤井 毅1 (1. 摂南大・農学研究科・応用昆虫、2. 東大院・農・昆虫遺伝、3. マックスプランク化学生態学研究所、4. 農研機構) アフノメイガとアズキノメイガの交雑後代F1の性フェロモンの基礎解析				15:00

2026年3月30日(月)午後 口頭発表

	A会場(201)	B会場(301)	C会場(302)	D会場(303)	E会場(304)
15:15	A316○白石 祥子1、衛藤友紀1(1. 佐賀県果樹試験場)ハウスミカンで問題となるワタミヒゲナガゾウムシに対して有効な薬剤の探索	B316○広岡 佑太1、中野昭雄1(1. 徳島県立農林水産総合技術支援センター)徳島県のももにおけるクビアカツヤカミキリ被害防止に向けた被覆資材の追加実証	C316○外山 晶敏1、新村瑠里1、岸本 英成1(1. 農研機構・植防研)果樹におけるミヤカブリダニ製剤の拡散特性と利用方法の検討	D316○荒井 周1、齋藤 悠平1、角平 龍紀1(1. 東農大・昆虫)分布拡大が懸念されるアオイ科害虫アオイガ(チョウ目: ヤガ科)フタトガリアオイガとの各発育段階における識別と生態的知見	E316沼尻 侑子2、陰山 大輔2、○山中 武彦1(1. 農研機構・農情研、2. 農研機構・生物研)共生微生物を利用した害虫防除メカニズムの解明: 齢構成モデルによる包括的理解
15:30	A317○守屋 伸生1、赤嶺聖良1、喜久村 智子2(1. 沖縄農研セ・野菜花き、2. 沖縄農研セ・病虫)キク栽培における花芽抑制用の光源の種類とネット資材の組合せがクログハナアザミウマの密度抑制に与える影響	B317○菊池 寛1、坂本 光1(1. 株式会社サニックス)マイクロサテライトマーカーを用いた鎮守の森におけるヒトスジシマカ(Aedes albopictus)の個体群構造解析	C317○桑田 光均1、日本典秀2、白岩 立彦1、多田光史1,2(1. NPO無施肥、2. 京大院農)無施肥無農薬栽培が茶園の病虫発生とアザミウマ個体数に及ぼす影響	D317○大西 浩翔1、館 卓司2(1. 九大・地社、2. 九大・比文)堆泥環境に生息するDitrichophora属(ミギワバ工科)の分類学的研究	E317○安部 淳1、宮田 真衣2,3、陰山 大輔4、小長谷 達郎5(1. 神奈川大・理、2. 福井大院・工、3. 福井大・ライフサイエンスイノベーションセンター、4. 農研機構・生物研、5. 奈良教育大・理科教育)雌化 Wolbachia に感染したキタキチョウ個体群はなぜ絶滅しないのか?: 個体ベースモデルによる検討
15:45	A318○戒能 洋一1、宮本隆典2、佐藤 安志3、田端純3(1. 筑波大学 生命環境系、2. 東京海洋大、3. 農研機構)チャノコカクモンハマキの性フェロモンへの定位に及ぼすLEDロープの位置の影響	B318○徳田 誠1,2、宗 祥史2、矢野 文士2(1. 佐賀大・農、2. 鹿児島大院・連合農学)変異と伊豆諸島での大発生継続要因	C318○村田 未果1、田中彩友美1(1. 農研機構 植物防疫研究部門)ツマジロクサヨトウにおける寄主選択に対する幼虫期の摂食経験の影響	D318○細谷 忠嗣1(1. 日本大学生物資源科学部)新たな資源動物である「昆虫食」などの動物資源科学系大学生における認知度	E318○安佛 尚志1、西川洋平2,3、新井 大4、相川拓也5、竹山 春子3,6(1. 産総研・細胞分子工学、2. 産総研・バイオものづくり、3. 早大・ナノライフ創研、4. 農研機構・生物研、5. 森林総研、6. 早大・先進理工)シングルセル技術を用いた生殖操作様式の異なる共生細菌ボルバキアの比較ゲノム解析
16:00	A319○坂巻 祥孝1、鈴木智久2、飛松 諒3、銀杏 優志4(1. 鹿児島大学・農学部、2. カワサキ機工株式会社、3. 鹿児島県農業開発総合センター、4. 株式会社 伊藤園)蒸気防除がチャ園のヨコバイ等へ与える影響(4年目: 部分的更新圃場)	B319○伊藤 健司1、石塚優介1、手塚 俊行1(1. 株式会社アグリ総研)ヘヤカブリダニのナミハダニに対する選好性	C319○石栗 陽一1(1. 青森産技りんご研究所)青森県のリンゴ園における複合交信かく乱剤の普及と各種害虫に対する効果	D319○平良 秀平1、大石毅2、楠本 みさき2(1. 沖縄県農業研究センター、2. 沖縄県病害虫防除技術センター)新たな侵入害虫セグロウリミバエ卵の低温水中保存が孵化率に及ぼす影響	E319○Astri Nur Faizah1、Daisuke Kobayashi1、Shinji Kasai1、Haruhiko Isawa1(1. JIHS NIID Med Ent Dept)Assessing the susceptibility of an insect-specific flavivirus and its coinfection dynamics with the Dengue virus in an Aedes aegypti colony
16:15	A320○肥川 広樹1(1. シンジェンタジャパン株式会社)サイモディス®DCの茶の各種害虫に対する防除効果	B320○竹中 彩1、安藤 忠2、武田 晃司1、小林 徹也1(1. 農研機構・生物研、2. 水産機構)飼料用昆虫アメリカミズアブ(Hermetia illucens)の表皮の改良	C320○山本 敦司1(1. 東京農業大学)飛来性害虫トマトキバガの殺虫剤抵抗性リスク評価	D320○中村 茂雄1、村山奈未1(1. 宮城大・食産)ドウガネブイブイ幼虫飼育法の効率化	E320○金子 ちひろ1、Jim é nez Paula1、大杉 祐生1、田谷 友里恵2、御子柴碧1、室谷 晴彦1、邱 永晋1、林 直樹1、野中 成晃1、中尾 亮1(1. 北大・獣医、2. 北大・人獣研)マダニ共生細菌 Rickettsiella の宿主域推定と吸血生理への影響
16:30	A321○末次 雄哉1、手柴真弓1(1. 福岡県農林業総合試験場茶の有機栽培におけるチャノミドリヒメヨコバイ新規防除薬剤の検討	B321○藤田 弥佳1、武田晃司1、劉 家銘1、小林 徹也1(1. 農研機構)アメリカミズアブによる植物性未利用資源の活用の検討	C321○熊野 了州1、藤本涼花1、村上 勇人1、秋本正博2(1. 帯広畜産大学・環境生態、2. 帯広畜産大学・植物生産)北海道の平野部における外来種セイヨウマルハナバチの除去が、カボチャ圃場における在来送粉者に及ぼす影響		E321○井上 真紀1、納富圭太郎1、宮本 優太1、吉岡 美咲1、小松 健1、石黒結唯1,2、謝 肖男1,2(1. 農工大院・農、2. 宇大・バイオ)植物ウイルス感染による花形質と送粉者行動の変化

2026年3月30日(月)午後 口頭発表

F会場(101)	G会場(102)	H会場(103)	I会場(104)	J会場(105)	
F316○井出 純哉1 (1. 久留米工大・教育) ヨツモンカメノコハムシの葉の色の好みに学習は関係しているか	G316○新屋 良治1 (1. 明治大学・農学部) 見えてきた寄生線虫の嗅覚世界:揮発性性フェロモンの同定から受容体探索まで				15:15
F317玉田 結唯1、○日本典秀1 (1. 京大院・農・生態情報) タバコカスミカメの夜行性と、行動量に影響する条件	G317○柳川 綾1、Couto Antoine 2、Sandoz Jean-Christophe 2、畑 俊充3、Mitra Aniruddha 2,4、Aghad Moutaz 2.5、Guigue Alexandra6、Marion-Poll Frédéric2 (1. 安田女子大学、2. Université Paris-Saclay、3. 京都大学、4. Shoolini University、5. Ynsect-Pôle Innovia、6. INRA, UMRiEES-Paris) グルーミング反射行動におけるLPS知覚に関与するショウジョウバエ翅上味覚受容器				15:30
F318○横溝 匠1 (1. 京大大学生態学研究センター) マングローブスズにおける周期的な浸水に対する活動パターンと遺伝子発現の応答	G318○高務 淳1、向井 裕美1、所 雅彦 (1. 森林総合研究所) シタケハエヒメバチに内在しているスディウイルスの応答				15:45
F319○渡 康彦1、後藤 慎介2、宮崎 洋祐3、黒木 出4、田中 一裕5 (1. 芦屋大・臨床教育、2. 大阪公立大・院理、3. 芦屋大・経営教育、4. 岡山理科大・基盤教育、5. 宮城学院女子大・一般教育) キイロショウジョウバエにおける温度周期下の羽化リズム —全暗条件および全明条件における平均温度の影響—	G319○佐藤 大樹1 (1. 森林総合研究所) シダハバチ類の一種から得られた昆虫疫病菌類について				16:00
F320○宮崎 洋祐1、田中 一裕2、渡 康彦3 (1. 芦屋大・経営教育、2. 宮城学院女子大・一般教育、3. 芦屋大・臨床教育) タマネギバエの概日羽化リズムにおける温度ステップアップおよびステップダウン位相反応曲線					16:15
F321○田中 一裕1、渡 康彦2 (1. 宮城学院女子大学・一般教育部、2. 芦屋大・生命工学) タマネギバエの羽化時刻の季節変化					16:30

2026年3月30日(月)午後 口頭発表

	A会場(201)	B会場(301)	C会場(302)	D会場(303)	E会場(304)
16:45	A322○吉村 正志1 (1. 琉球ネイチャーポジティブ) 沖縄島における国内外来ホタル「ヤエヤマドボタル <i>Pyrocoelia atripennis</i> 」の選択的防除手法開発	B322○祐川 侑司1、二木 佐和子1、黒田 枝里1、神崎 亮平1、光野 秀文1 (1. 東大・先端研) 昆虫嗅覚受容体発現センサー細胞のカビ臭気成分に対する検出限界と濃度定量範囲の検討	C322○岸 茂樹1 (1. 農研機構・農情研) 訪花昆虫の体サイズと花の咲く高さの関係		

2026年3月30日(月)午後 口頭発表

F会場(101)	G会場(102)	H会場(103)	I会場(104)	J会場(105)

16:45